



プレスリリース

2026年5月27日

マレリ、広州工場のエレクトロニクス事業 30 周年を祝う グローバルなイノベーション拠点としての地位を強化

グローバル自動車技術サプライヤーであるマレリは、中国・広州にあるエレクトロニクス製品製造工場の創立 30 周年を迎え、自動車用エレクトロニクス機器におけるグローバルなイノベーションおよびスマート製造の拠点としての発展を象徴する重要な節目を祝いました。1996 年にマレリの中国初の製造拠点として設立された広州工場は、現在ではマレリのエレクトロニクス事業における中核拠点へと成長し、中国市場およびグローバル・オペレーション双方において戦略的な重要性を高めています。

過去 30 年間で、広州工場は従業員 100 名余り・単一生産ラインの小規模体制から、大規模な自動車用エレクトロニクス機器の生産拠点へと進化しました。現在では敷地面積 30,000 平方メートル、従業員約 1,000 名、66 の生産ラインを有するまでに拡大し、ローカルおよびグローバル双方のプロジェクトを支える、マレリの中国事業のベンチマーク拠点となっています。

マレリのエレクトロニクス事業プレジデントのラヴィ・タラプラガダは、次のように述べています。
「広州工場は、マレリの中国におけるエレクトロニクス事業の中核であり、イノベーションと先進的な製造が持続的な成長をいかに牽引するかを体現する存在です。この 30 年間、広州工場のチームは継続的に能力を進化させ、自動車産業の急速な変革に対応する高度技術とスケーラブルなプラットフォームを開発してきました。長年にわたる顧客やパートナーとの協働の積み重ねがその基盤となっています。広州のチームを大変誇りに思うとともに、今後も広州工場がマレリのグローバルな未来を形作る重要な役割を担い続けると確信しています。」

広州工場では、中国内外の顧客に向け、次世代自動車用電子プラットフォームの開発および量産化に注力しています。スケーラブルなアーキテクチャを採用するとともに、現地サプライチェーンを活用した競争力の強化にも重点を置き、コネクテッド化およびソフトウェア定義車両への移行を支えています。

広州工場は、特に Mini-LED および MicroLED 技術を活用した先進ディスプレイ・ソリューションにおいて、グローバルなイノベーション拠点となっています。さらに、ボディおよびシート制御用 ECU、ゾーン・コントロール・ユニット、デジタル・コックピット、デジタル・メーター、5G テレマティクス・システムなど、幅広い主要プラットフォームを展開しています。

また、広州工場は統合型のエンジニアリングと製造モデルのもとで運営されており、100 件以上の特許を保有する専用エンジニアリング・センターによって支えられています。自社内での工業化プロセス、デジタル化された製造工程、高度な自動化を組み合わせたイノベーション志向の製造モデルにより、スピード、柔軟性、そして一貫した品質を確保しています。さらに、光学接合技術や精密組立プロセス、工場全体に設置された太陽光発電システムなどの先進技術を導入し、生産効率の向上を実現しています。



この30周年は、単なる節目にとどまらず、今後の成長に向けた新たな出発点でもあります。自動車用エレクトロニクス技術と先進製造における強固な基盤を背景に、広州工場はマレリのグローバル・ネットワークの中で戦略的拠点としての位置づけをさらに強化し、コネクテッドでスマート、かつ持続可能なモビリティの未来を牽引していくことが期待されています。

訳注：当文書は2026年5月27日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約40,000人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに150以上の施設と研究開発センターを有しています。